安全データシート



キット 製品名 Out of the Blue CRISPR Kit Refill Pack キット カタログ番号 12012620, 12012620EDU

改訂日 2021-08-20

構成品

カタログ番号	製品名
1660406, 1660406EDU, 9702997	Arabinose Lyophilized
9702925	Transformation Solution
12012638	OutBlue E. coli HB101-pBRKan, Lyo
12012649	Spectinomycin, 18mg
12012642, 12012646	pLZDonor Plasmid, pLZDonorGuide Plasmid
12012648	OutBlue KIX Mix

KITJ / JP ページ 1/44



この安全データシートは以下の要件に準拠している: JIS Z 7253:2012

改訂日 2021-08-19

改訂番号 2

化学品及び会社情報

製品名 Arabinose Lyophilized

カタログ番号 1660406, 1660406EDU, 9702997

CAS**番号** 5328-37-0

安全データシート の供給者の詳細

本社 製造者 日本法人/連絡先住所

Bio-Rad Laboratories Inc. Bio-Rad Laboratories, Life 140-0002 東京都品川区東品川2-2-24 1000 Alfred Nobel Drive Science Group 2000 Alfred Nobel Drive Hercules, CA 94547 天王洲セントラルタワー20F **USA**

Hercules, California 94547 バイオ・ラッド ラボラトリーズ USA

株式会社

テクニカルサービス 03-6404-0331

life_ps_jp@bio-rad.com CHEMTREC (ケムトレック):81-345209637 緊急連絡電話番号

化学品の推奨用途及び使用上の制限

推奨用途 使用上の制限 試験研究用試薬。

情報なし

危険有害性の要約

GHS 分類

世界調和システム(GHS)による危険物有害性の物質でも混合物でもない 区分に該当しない	
急性毒性(経口)	分類できない
急性毒性(経皮)	分類できない
急性毒性(吸入) - ガス	区分に該当しない
急性毒性(吸入) - 蒸気	分類できない
急性毒性(吸入) - 粉塵/ミスト	分類できない
皮膚腐食性/刺激性	分類できない
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	分類できない
呼吸器感作性	分類できない
皮膚感作性	分類できない
生殖細胞変異原性	分類できない
発がん性	分類できない
生殖毒性	分類できない
授乳に対する又は授乳を介した影響	授乳に対する又は授乳を介した影響は
	ない
特定標的臓器毒性(単回ばく 露)	分類できない
特定標的臓器毒性(反復ばく 露)	分類できない
誤えん有害性	分類できない
水生環境有害性 短期(急性)	分類できない
水生環境有害性 長期(慢性)	区分に該当しない
オゾン層への有害性	分類できない

ラベル要素

危険有害性情報

世界調和システム(GHS)による危険物有害性の物質でも混合物でもない 区分に該当しない

安全対策

該当しない

応急措置

該当しない

Arabinose Lyophilized 改訂日 2021-08-19

保管

·<u>該</u>当しない 廃棄

該当しない

他の危険有害性

3. 組成及び成分情報

化学物質 化学物質・混合物の区別

CAS**番号** 5328-37-0

	化学品の名称	CAS番号	重量%	化審法インベント リ	化審法番号	安衛法インベント リ	安衛法番号
Ī	L-アラビノ <i>ー</i> ス	5328-37-0	50 - 100	情報なし		情報なし	

化学物質排出把握管理促進法(PRTR) 該当しない

労働安全衛生法

通知対象物質 該当しない

表示対象物質 該当しない

毒物及び劇物取締法 該当しない

4. 応急措置

吸入した場合 空気の新鮮な場所に移すこと。

皮膚に付着した場合 皮膚を石けん(鹸)と水で洗うこと。

上下のまぶた(瞼)を持ち上げながら最低15分間多量の水でよく洗うこと。医師に相談すること。 眼に入った場合

飲み込んだ場合 口をすすぐこと。

急性症状及び遅発性症状の最も重要な 情報なし

徴候症状

医師に対する特別な注意事項 症状に応じて治療すること。

5. 火災時の措置

適切な消火剤 現地の状況及び周囲環境に適した消火方法を用いること。

使ってはならない消火剤 高圧水で漏出物を散乱させないこと。

特有の危険有害性 情報なし。

特有の消火方法 水噴霧でドラムを冷却すること。

改訂日 2021-08-19 Arabinose Lyophilized

大規模火災

警告: 放水では十分な消火の効果が得られない場合がある。

消火活動を行う者の特別な保護具及び 消火を行う者は自給式呼吸器及び消火活動用の完全装備を着用しなければならない。 個人 用保護具を使用すること。 予防措置

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊 十分換気されているか確認すること。 急時措置

緊急対応を行う者のための保護具 項目8で推奨されている個人用保護具を着用すること。

環境に対する注意事項 環境影響情報の詳細情報については項目12を参照のこと。

封じ込め方法 安全に対処できるならば、それ以上の漏えい(洩)又は漏出を防ぐこと。

浄化方法 回収して適切に表示された容器に移すこと。

二次災害の防止策 汚染された物体及び区域を環境規則に従って十分に浄化すること。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

安全取扱注意事項 産業衛生安全対策規範に従って取り扱うこと。

保管

容器を密閉して乾燥した涼しく換気のよい場所に保管すること。 製品とラベルの指示に従って保管してください。 安全な保管条件

8. ばく露防止及び保護措置

許容濃度 この製品は、供給されたままの状態なら、地域独自の規制団体が制定した職業被ばく 限界

が設定された危険有害物質を一切含んでいない。

生物学的職業性ばく露限界値 供給時のこの製品は、各地域の規制機関が独自に生物学的制限値を定めている危険有害性

物質を一切含んでいない。

設備対策 シャワー

洗眼場 換気システム

環境ばく 露防止 情報なし。

保護具

呼吸用保護具 通常の使用条件下では保護具は必要ない。ばく露限度を超えるか刺激が生じる場合には、

換気および排気が必要になる。

眼、顔面の保護具 サイドシールド付き保護眼鏡(またはゴーグル)を着用すること。

皮膚及び身体の保護具 特別な保護具は必要とされない。

9. 物理的及び化学的性質

改訂日 2021-08-19 Arabinose Lyophilized

物理的及び化学的性質に関する情報

粉末、固体物、凍結乾燥されたもの 固体

物理状態 色 白色 臭い 無臭 臭いのしきい値 情報なし

備考 · 方法

融点/凝固点 沸点、初留点及び沸騰範囲 可燃性_____ <u>順</u> 158 °C / 316.4 °F データなし データなし 情報なし 情報なし

爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界

爆発又は可燃の上限界 データなし 情報なし 爆発又は可燃の下限界 データなし 情報なし データなしデータなし 引火点 情報なし 蒸発速度 自然発火点 情報なし データなし 情報なし 分解温度 一タ なし 情報なし 情報なし На

粘度

動粘性率 データなし 情報なし データなし 動的粘度 情報なし

水に可溶 水への溶解度 溶解度 情報なし

データなし データなし データなし n ーオクタノール/水分配係数(log値) 蒸気圧

密度及び/又は比重 相対密度 データなし 情報なし

相対ガス密度 粒子特性 データなし 情報なし

データなし 該当しない 粒径 データなし 粒径分布 該当しない

その他の情報

爆発性 情報なし 酸化特性 情報なし

10: 安定性及び反応性

情報なし

情報なし

反応性 情報なし。

化学的安定性 通常の条件下で安定。

危険有害反応可能性 通常のプロセスではない。

避けるべき条件 情報なし。

混触危険物質 提供された情報に基づき知見なし。

危険有害な分解生成物 提供された情報に基づき知見なし。

爆発データ

静電放電に対する感度 なし。 機械的衝撃に対する感度 なし。

11. 有害性情報

急性毒性

分類できない。

毒性の数値尺度 - 製品情報

情報なし

Arabinose Lyophilized **改訂日** 2021-08-19

経口 この化学物質または混合物の特定試験データはない。

吸入 この化学物質または混合物の特定試験データはない。

皮膚接触この化学物質または混合物の特定試験データはない。

眼接触この化学物質または混合物の特定試験データはない。

皮膚腐食性/刺激性 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

呼吸器感作性又は皮膚感作性 分類できない。

生殖細胞変異原性 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

発がん性 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

生殖毒性 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

特定標的臓器毒性(単回ばく露) 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

特定標的臓器毒性(反復ばく露) 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

誤えん有害性 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

12. 環境影響情報

生態毒性 分類できない。

残留性.分解性 情報なし。

生体蓄積性情報なし。

土壌中の移動性情報なし。

オゾン層への有害性 分類できない。 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。

他の有害影響情報なし。

改訂日 2021-08-19 Arabinose Lyophilized

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物 現地の規則に従って廃棄すること。 環境法律に従って廃棄物を廃棄すること。

空容器を再利用しないこと。 汚染容器及び包装

14. 輸送上の注意

<u>IMDG</u> 規制対象外 <u>ADR</u> 規制対象外 <u>IATA</u> 規制対象外 <u>日本</u> 規制対象外

15. 適用法令

国内規制

化学物質排出把握管理促進法(PRTR) 該当しない

労働安全衛生法

該当しない

通知対象物質

該当しない

毒物及び劇物取締法

該当しない 消防法:

化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律(化審法)

該当しない

海洋汚染及び海上災害の防止に関する法律

該当しない

国際規制

残留性有機汚染物質に関するストックホルム条約 該当しない

ロッテルダム条約 該当しない

16. その他の情報

Bio-Rad Laboratories, Environmental Health and Safety

改訂日 2021-08-19

改訂記録 更新された安全データシート項目。1。3。5。12。

安全データシートで使用されている略語及び頭文字のキー又は凡例

<u>凡例 項目8: ぱく露防止及び保護措置</u> TWA TWA(時間加重平均)

最大限界值 天井値 皮膚兆候 感作性物質

本安全データシート の編集に使用した主要参考文献およびデータ源

環境有害物質.特定疾病対策庁 (ATSDR)

米国環境保護庁ChemViewデータベース

欧州化学品局 欧州食品安全機関(EFSA)

EPA (環境保護庁)

急性ばく露ガイドラインレベル(AEGL)

急性はく露ガイトラインレヘル(AEGL) 米国環境保護庁、連邦殺虫剤、殺菌剤、殺鼠剤法 米国環境保護庁高生産量化学物質 フードリサーチジャーナル (Food Research Journal) 危険有害性物質データベース 国際統一化学情報データベース(IUCLID) 日本政府によるGHS分類

改訂日 2021-08-19 Arabinose Lyophilized

オーストラリア国家工業化学品届出審査機構(NICNAS)

NIOSH(米国労働安全衛生研究所)

米国医学図書館ChemID Plus(NLM CIP)

National Library of Medicine's PubMed database (NLM PUBMED) 米国国家毒性プログラム(NTP)

ニュージーランド 化学物質分類・情報データベース(CCID)

経済協力開発機構、環境・健康・安全に関する文書

経済協力開発機構、高生産量化学物質点検プログラム 経済協力開発機構、スクリーニング情報データセット 世界保健機構

<u>免責事項</u>

光見季場 このSDSは、JIS Z 7252:2019およびJIS Z 7253:2019の要件に準拠している。この安全データシートに記載されている内容は、発行日時点の知見、情報に基づき正確を期したものです。ここに記載されている情報は当該製品の安全な取扱い、使用、加工処理、保管、運搬、廃棄、漏えい時の処理など指針とすることのみを目的としたものであり、いかなる保証をするものではなく、また品質仕様ではありません。本文中に明記されている場合を除き、他の何らかの材料と組み合わせて使用した場合、または何らかのプロセスに使用した場合には、有効でなくなる場合があります。

安全データシート のおわり



この安全データシートは以下の要件に準拠している: JIS Z 7253:2012

改訂日 2021-02-26

改訂番号 1

化学品及び会社情報

製品名 **Transformation Solution**

カタログ番号 9702925

安全データシート の供給者の詳細

本社

Bio-Rad Laboratories Inc. 1000 Alfred Nobel Drive Hercules, CA 94547

USA

緊急連絡電話番号

製造者 Bio-Rad Laboratories, Life Science Group 2000 Alfred Nobel Drive

Hercules, California 94547

USA

日本法人/連絡先住所

140-0002 東京都品川区東品川2-2-24 天王洲セントラルタワー20F バイオ・ラッド ラボラトリーズ

株式会社

テクニカルサービス 03-6404-0331

life_ps_jp@bio-rad.com

CHEMTREC (ケムトレック):81-345209637

化学品の推奨用途及び使用上の制限

推奨用途 試験研究用試薬。

使用上の制限 情報なし

2. 危険有害性の要約

GHS 分類	L
--------	---

回り カス 世界調和システム(GHS)による危険物有害性の物質でも混合物でもた	ない 区分に該当しない
急性毒性(経口)	分類できない
急性毒性(経皮)	分類できない
急性毒性(吸入) - ガス	区分に該当しない
急性毒性(吸入) - 蒸気	分類できない
急性毒性(吸入) - 粉塵/ミスト	分類できない
皮膚腐食性/刺激性	分類できない
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	分類できない
呼吸器感作性	分類できない
皮膚感作性	分類できない
生殖細胞変異原性	分類できない
発がん性	分類できない
生殖毒性	分類できない
授乳に対する又は授乳を介した影響	授乳に対する又は授乳を介した影響は
	ない
特定標的臓器毒性(単回ばく 露)	分類できない
特定標的臓器毒性(反復ばく 露)	分類できない
誤えん有害性	分類できない
水生環境有害性 短期(急性)	分類できない
水生環境有害性 長期(慢性)	分類できない
オゾン層への有害性	分類できない

ラベル要素

危険有害性情報

世界調和システム(GHS)による危険物有害性の物質でも混合物でもない 区分に該当しない

安全対策

該当しない

応急措置

該当しない

保管

該当しない

廃棄

該当しない

他の危険有害性

3. 組成及び成分情報

化学物質 - 混合物の区別

混合物

化学品の名称	CAS番号	重量%	化審法インベント リ	化審法番号	安衛法インベント リ	安衛法番号
塩化カルシウム、六水和物	7774-34-7	1 - 2.5	情報なし		情報なし	

化学物質排出把握管理促進法(PRTR)

該当しない

労働安全衛生法

通知対象物質

該当しない

表示対象物質

該当しない

毒物及び劇物取締法

該当しない

4. 応急措置

吸入した場合 空気の新鮮な場所に移すこと。

皮膚に付着した場合 皮膚を石けん(鹸)と水で洗うこと。

眼に入った場合 上下のまぶた(瞼)を持ち上げながら最低15分間多量の水でよく洗うこと。医師に相談する

ء ع ت

飲み込んだ場合 口をすすぐこと。

急性症状及び遅発性症状の最も重要な 情報なし

徴候症状

医師に対する特別な注意事項 症状に応じて治療すること。

5. 火災時の措置

適切な消火剤 現地の状況及び周囲環境に適した消火方法を用いること。

使ってはならない消火剤 高圧水で漏出物を散乱させないこと。

特有の危険有害性 情報なし。

特有の消火方法 水噴霧でドラムを冷却すること。

大規模火災 警告:放水では十分な消火の効果が得られない場合がある。

消火活動を行う者の特別な保護具及び 消火を行う者は自給式呼吸器及び消火活動用の完全装備を着用しなければならない。 個人 用保護具を使用すること。

予防措置

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊 十分換気されているか確認すること。

急時措置

緊急対応を行う者のための保護具 項目8で推奨されている個人用保護具を着用すること。

環境に対する注意事項 環境影響情報の詳細情報については項目12を参照のこと。

封じ込め方法 安全に対処できるならば、それ以上の漏えい(洩)又は漏出を防ぐこと。

浄化方法 回収して適切に表示された容器に移すこと。

二次災害の防止策 汚染された物体及び区域を環境規則に従って十分に浄化すること。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

安全取扱注意事項 産業衛生安全対策規範に従って取り扱うこと。

保管

安全な保管条件 製品とラベルの指示に従って保管してください。

8. ばく露防止及び保護措置

この製品は、供給されたままの状態なら、地域独自の規制団体が制定した職業被ばく限界が設定された危険有害物質を一切含んでいない。 許容濃度

供給時のこの製品は、各地域の規制機関が独自に生物学的制限値を定めている危険有害性 生物学的職業性ばく 露限界値

物質を一切含んでいない。

設備対策 シャワー

洗眼場 換気システム

情報なし。 環境ばく 露防止

保護具

呼吸用保護具 通常の使用条件下では保護具は必要ない。ばく露限度を超えるか刺激が生じる場合には、

換気および排気が必要になる。

眼、顔面の保護具 サイドシールド付き保護眼鏡(またはゴーグル)を着用すること。

皮膚及び身体の保護具 特別な保護具は必要とされない。

9. 物理的及び化学的性質

物理的及び化学的性質に関する情報

外観 水溶液 物理状態 液体 色 無色 臭い 無臭

臭いのしきい値 情報なし

備考 ·方法

<u>値</u> 0 ° C / 32 ° F 100 ° C / 212 ° F

一タ なし 情報なし

爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界 爆発又は可燃の上限界 データなし 情報なし 爆発又は可燃の下限界 データなし 情報なし 引火点 蒸発速度 自然発火点 データなし 情報なし 情報なし 情報なし

データなし 分解温度 6-7

粘度 動粘性率 データなし 情報なし

データなし 動的粘度 情報なし 水と 混和 水への溶解度 溶解度 情報なし

データなし n ーオクタノール/水分配係数(log値) 情報なし 蒸気圧 データなし 情報なし

密度及び/又は比重 相対密度 データなし 情報なし 相対ガス密度 データなし 情報なし

粒子特性 粒径 データなし 該当しない データなし 粒径分布 該当しない

その他の情報

爆発性 情報なし 酸化特性 情報なし

10: 安定性及び反応性

反応性 情報なし。

化学的安定性 通常の条件下で安定。

通常のプロセスではない。 危険有害反応可能性

避けるべき条件 情報なし。

混触危険物質 提供された情報に基づき知見なし。

危険有害な分解生成物 提供された情報に基づき知見なし。

爆発データ

静電放電に対する感度 なし。 機械的衝撃に対する感度 なし。

11. 有害性情報

急性毒性

分類できない。

毒性の数値尺度 - 製品情報

症状 情報なし

経口 この化学物質または混合物の特定試験データはない。

吸入この化学物質または混合物の特定試験データはない。

皮膚接触
この化学物質または混合物の特定試験データはない。

眼接触これでは混合物の特定試験データはない。

皮膚腐食性/刺激性 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

呼吸器感作性又は皮膚感作性 分類できない。

生殖細胞変異原性 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

発がん性 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

生殖毒性 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

特定標的臓器毒性(単回ばく露) 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

特定標的臓器毒性(反復ばく露) 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

誤えん有害性 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

12. 環境影響情報

生態毒性 分類できない。

未知の危険有害性物質の濃度 混合物の0%は水生環境に対する危険有害性が未知の成分で構成されている。

残留性.分解性 情報なし。

生体蓄積性情報なし。

土壌中の移動性 情報なし。

オゾン層への有害性 分類できない。 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。

他の有害影響情報なし。

13. **廃棄上の注意**

残余廃棄物 現地の規則に従って廃棄すること。 環境法律に従って廃棄物を廃棄すること。

改訂日 2021-02-26 Transformation Solution

汚染容器及び包装 空容器を再利用しないこと。

14. 輸送上の注意

規制対象外 <u>IMDG</u> <u>ADR</u> 規制対象外 <u>IATA</u> 規制対象外 <u>日本</u> 規制対象外

15. **適用法令**

国内規制

化学物質排出把握管理促進法(PRTR) 該当しない

労働安全衛生法

該当しない

通知対象物質

該当しない

毒物及び劇物取締法

該当しない

消防法:

該当しない

化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律(化審法)

海洋汚染及び海上災害の防止に関する法律

該当しない

国際規制

残留性有機汚染物質に関するストックホルム条約 該当しない

ロッテルダム条約 該当しない

16. その他の情報

作成者 Bio-Rad Laboratories, Environmental Health and Safety

改訂日 2021-02-26

この安全デー -タシートには大きな変更があります。すべてのセクションをご確認くださ 改訂記録

安全データシートで使用されている略語及び頭文字のキー又は凡例

凡例 項目8: ばく露防止及び保護措置

TWA TWA(時間加重平均) 天井値 最大限界值 皮膚兆候 感作性物質

本安全データシート の編集に使用した主要参考文献およびデータ源

環境有害物質.特定疾病対策庁(ATSDR)

米国環境保護庁ChemViewデータベース

欧州化学品局 欧州食品安全機関(EFSA)

欧州良品女主機関(LFSA) EPA (環境保護庁) 急性ばく露ガイドラインレベル(AEGL) 米国環境保護庁、連邦殺虫剤、殺菌剤、殺鼠剤法 米国環境保護庁高生産量化学物質 フードリサーチジャーナル (Food Research Journal) 危険有害性物質データベース

厄陝有音性物員アーダイーへ 国際統一化学情報データベース(IUCLID) 日本政府によるGHS分類 オーストラリア国家工業化学品届出審査機構(NICNAS)

NIOSH(米国労働安全衛生研究所)

米国医学図書館ChemID Plus(NLM CIP)

National Library of Medicine's PubMed database (NLM PUBMED)

米国国家毒性プログラム(NTP)

ニュージーランド 化学物質分類・情報データベース(CCID)

経済協力開発機構、環境・健康・安全に関する文書

経済協力開発機構、高生産量化学物質点検プログラム 経済協力開発機構、スクリーニング情報データセット 世界保健機構

<u>免責事項</u>

光見季場 このSDSは、JIS Z 7252:2019およびJIS Z 7253:2019の要件に準拠している。この安全データシートに記載されている内容は、発行日時点の知見、情報に基づき正確を期したものです。ここに記載されている情報は当該製品の安全な取扱い、使用、加工処理、保管、運搬、廃棄、漏えい時の処理など指針とすることのみを目的としたものであり、いかなる保証をするものではなく、また品質仕様ではありません。本文中に明記されている場合を除き、他の何らかの材料と組み合わせて使用した場合、または何らかのプロセスに使用した場合には、有効でなくなる場合があります。

安全データシート のおわり



この安全データシートは以下の要件に準拠している: JIS Z 7253:2012

改訂日 2021-08-19

改訂番号 1

1. 化学品及び会社情報

製品名 OutBlue E. coli HB101-pBRKan, Lyo

カタログ番号 12012638

安全データシート の供給者の詳細

製造者 本社

Bio-Rad Laboratories Inc. 1000 Alfred Nobel Drive Hercules, CA 94547 **USA**

Bio-Rad Laboratories, Life Science Group 2000 Alfred Nobel Drive Hercules, California 94547

USA

バイオ・ラッド ラボラトリーズ 株式会社

140-0002

日本法人/連絡先住所

東京都品川区東品川2-2-24

天王洲セントラルタワー20F

テクニカルサービス

03-6404-0331 life_ps_jp@bio-rad.com

緊急連絡電話番号

CHEMTREC (ケムトレック):81-345209637

化学品の推奨用途及び使用上の制限

推奨用途 試験研究用試薬。

使用上の制限 情報なし

2. 危険有害性の要約

GHS 分類		
世界調和システム(GHS)による・	危除物有実性の物質でも混合物でもない 区分に該当した	115

世界調和ンステム(GHS)による厄険物有害性の物質でも混合物でもない 区分に該当しない	
急性毒性(経口)	分類できない
急性毒性(経皮)	分類できない
急性毒性(吸入) - ガス	区分に該当しない
急性毒性(吸入) - 蒸気	分類できない
急性毒性(吸入) - 粉塵/ミスト	分類できない
皮膚腐食性/刺激性	分類できない
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	分類できない
呼吸器感作性	分類できない
皮膚感作性	分類できない
生殖細胞変異原性	分類できない
発がん性	分類できない
生殖毒性	分類できない
授乳に対する又は授乳を介した影響	授乳に対する又は授乳を介した影響は
	ない
特定標的臓器毒性(単回ばく 露)	分類できない
特定標的臓器毒性(反復ばく 露)	分類できない
誤えん有害性	分類できない
水生環境有害性 短期(急性)	分類できない
水生環境有害性 長期(慢性)	区分に該当しない
オゾン層への有害性	分類できない

ラベル要素

危険有害性情報

世界調和システム(GHS)による危険物有害性の物質でも混合物でもない 区分に該当しない

安全対策

該当しない

応急措置

該当しない

保管

該当しない

廃棄

該当しない

他の危険有害性

バイオセーフティレベル1 - 本製品には、健康な成人に対し、一貫して疾病を起こすことが知られていない、また検査施設の人員や環境に対する潜在的な危険性が最小限である物質が含まれています 人体に由来する成分及び/又は感染性のおそれがある成分 が含まれています

3. 組成及び成分情報

混合物 化学物質・混合物の区別

	化学品の名称	CAS番号	重量%	化審法インベント リ	化審法番号	安衛法インベント リ	安衛法番号
Γ	塩化ナトリウム	7647-14-5	1 - 2.5	情報なし	(1)-236	情報なし	7-(3)-1053 (1)-236

化学物質排出把握管理促進法(PRTR)

該当しない

労働安全衛生法

<u>通知対象物質</u> 該当しない

表示対象物質

該当しない

毒物及び劇物取締法

該当しない

4. 応急措置

吸入した場合 空気の新鮮な場所に移すこと。

皮膚に付着した場合 皮膚を石けん(鹸)と水で洗うこと。

上下のまぶた(瞼)を持ち上げながら最低15分間多量の水でよく洗うこと。医師に相談すること。 眼に入った場合

飲み込んだ場合 医師に連絡すること。

急性症状及び遅発性症状の最も重要な 情報なし

徴候症状

医師に対する特別な注意事項 症状に応じて治療すること。

5. 火災時の措置

適切な消火剤 現地の状況及び周囲環境に適した消火方法を用いること。

使ってはならない消火剤 高圧水で漏出物を散乱させないこと。

特有の危険有害性 情報なし。

特有の消火方法 水噴霧でドラムを冷却すること。

警告:放水では十分な消火の効果が得られない場合がある。 大規模火災

消火活動を行う者の特別な保護具及び 消火を行う者は自給式呼吸器及び消火活動用の完全装備を着用しなければならない。 個人 用保護具を使用すること。 予防措置

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊 十分換気されているか確認すること。

急時措置

緊急対応を行う者のための保護具 項目8で推奨されている個人用保護具を着用すること。

環境に対する注意事項 環境影響情報の詳細情報については項目12を参照のこと。

封じ込め方法 安全に対処できるならば、それ以上の漏えい(洩)又は漏出を防ぐこと。

浄化方法 汚染された表面を十分に浄化すること。

二次災害の防止策 汚染された物体及び区域を環境規則に従って十分に浄化すること。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

安全取扱注意事項 産業衛生安全対策規範に従って取り扱うこと。

保管

容器を密閉して乾燥した涼しく換気のよい場所に保管すること。 製品とラベルの指示に従って保管してください。 安全な保管条件

8. ばく露防止及び保護措置

許容濃度 この製品は、供給されたままの状態なら、地域独自の規制団体が制定した職業被ばく 限界

が設定された危険有害物質を一切含んでいない。

生物学的職業性ばく 露限界値 供給時のこの製品は、各地域の規制機関が独自に生物学的制限値を定めている危険有害性

物質を一切含んでいない。

設備対策 シャワー

洗眼場 換気システム

環境ばく 露防止 情報なし。

保護具

通常の使用条件下では保護具は必要ない。ばく露限度を超えるか刺激が生じる場合には、 呼吸用保護具

換気および排気が必要になる。

手の保護具 適切な手袋を着用する。

サイドシールド付き保護眼鏡(またはゴーグル)を着用すること。 眼、顔面の保護具

皮膚及び身体の保護具 適切な保護衣を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

物理的及び化学的性質に関する情報

粉末 物理状態 固体 色 白色 臭い 無臭 情報なし 臭いのしきい値

展点/凝固点 沸点、初留点及び沸騰範囲 可燃性___ データなしデータなし · データなし 爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界

爆発又は可燃の上限界 データなし 爆発又は可燃の下限界 データなし データなし、 引火点 蒸発速度 自然発火点 分解温度 データなし nΗ

粘度

その他の情報

動粘性率 データなし データなし 動的粘度 水に可溶 水への溶解度 データなし 溶解度

n ーオクタノール/水分配係数(log値) · データなし 蒸気圧 密度及び/又は比重

相対密度 データなし 相対ガス密度 粒子特性 データなし

粒径 データなし 粒径分布 データなし

爆発性 情報なし 酸化特性 情報なし

10: 安定性及び反応性

<u>備考 · 方法</u>

情報なし 情報なし

情報なし

情報なし

情報なし

情報なし

情報なし 情報なし

情報なし 情報なし

情報なし

情報なし

情報なし

情報なし

情報なし

情報なし

情報なし

該当しない

該当しない

反応性 情報なし。

化学的安定性 通常の条件下で安定。

危険有害反応可能性 通常のプロセスではない。

避けるべき条件 情報なし。

混触危険物質 提供された情報に基づき知見なし。 危険有害な分解生成物 提供された情報に基づき知見なし。

爆発データ

静電放電に対する感度 なし。 機械的衝撃に対する感度 なし。

11. 有害性情報

急性毒性

分類できない。

毒性の数値尺度 - 製品情報

以下の値はGHS文書の第3.1章に基づいて算出されている ATEmix(経口) 25,140.60 mg/kg

化学品の名称	経口LD50	経皮LD50	吸入 LC50
塩化ナトリ ウム	= 3 g/kg (Rat)	> 10 g/kg (Rabbit)	> 42 g/m³ (Rat) 1 h

略語及び頭文字 Rat: ラット Rabbit: ウサギ

症状情報なし

経口 この化学物質または混合物の特定試験データはない。

吸入この化学物質または混合物の特定試験データはない。

皮膚接触この化学物質または混合物の特定試験データはない。

眼接触この化学物質または混合物の特定試験データはない。

皮膚腐食性/刺激性 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

呼吸器感作性又は皮膚感作性 分類できない。

生殖細胞変異原性 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

発がん性 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

生殖毒性 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

標的職器影響 呼吸器、眼

特定標的臓器毒性(単回ばく露) 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

特定標的臓器毒性(反復ばく露) 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

誤えん有害性 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

12. 環境影響情報

生態毒性 分類できない。

	化学品の名称	藻類/水生植物	魚類	甲殼類
Ī	塩化ナトリ ウム	-	LC50: 4747 - 7824mg/L (96h,	EC50: 340.7 - 469.2mg/L (48h,
1			Oncorhynchus mykiss)	Daphnia magna)
-			LC50: 5560 - 6080mg/L (96h,	EC50: =1000mg/L (48h, Daphnia

Lepomis macrochirus)	magna)
LC50: 6020 - 7070mg/L (96h,	Ç ,
Pimephales promelas)	
LC50: 6420 - 6700mg/L (96h,	
Pimephales promelas)	
LC50: =12946mg/L (96h, Lepomis	
macrochirus)	
LC50: =7050mg/L (96h,	
Pimephales promelas)	

未知の危険有害性物質の濃度 混合物の0%は水生環境に対する危険有害性が未知の成分で構成されている。

情報なし。 残留性. 分解性

生体蓄積性 情報なし。

土壌中の移動性 情報なし。

分類できない。 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 オゾン層への有害性

他の有害影響 情報なし。

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物 現地の規則に従って廃棄すること。 環境法律に従って廃棄物を廃棄すること。

汚染容器及び包装 空容器を再利用しないこと。

14. 輸送上の注意

<u>IMDG</u> 規制対象外 規制対象外 <u>ADR</u> <u>IATA</u> 規制対象外 日本 規制対象外

15. 適用法令

国内規制

化学物質排出把握管理促進法(PRTR)

該当しない **労働安全衛生法**

該当しない

通知対象物質 該当しない

毒物及び劇物取締法

該当しない

消防法: 該当しない

化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律(化審法)

海洋汚染及び海上災害の防止に関する法律

該当しない

国際規制

残留性有機汚染物質に関するストックホルム条約 該当しない

ロッテルダム条約 該当しない

16. その他の情報

作成者 改訂日 改訂記録

Bio-Rad Laboratories, Environmental Health and Safety 2021-08-19 この安全デ -タシートには大きな変更があります。すべてのセクションをご確認くださ

安全データシートで使用されている略語及び頭文字のキー又は凡例凡例 項目8: ばく 露防止及び保護措置TWATWA(時間加重平均)

天井値 最大限界值 皮膚兆候 感作性物質

本安全データシート の編集に使用した主要参考文献およびデータ源

環境有害物質·特定疾病対策庁 (ATSDR)

米国環境保護庁ChemViewデータベース

欧州化学品局 欧州食品安全機関(EFSA)

EPA (環境保護庁)

急性ばく露ガイドラインレベル(AEGL) 米国環境保護庁、連邦殺虫剤、殺菌剤、殺鼠剤法 米国環境保護庁高生産量化学物質

アロススト設け同工性室にデッタフードリサーチジャーナル (Food Research Journal) 危険有害性物質データベース 国際統一化学情報データベース(IUCLID)

日本政府によるGHS分類 オーストラリア国家工業化学品届出審査機構(NICNAS) NIOSH(米国労働安全衛生研究所)

米国医学図書館ChemID Plus(NLM CIP)

National Library of Medicine's PubMed database (NLM PUBMED) 米国国家毒性プログラム(NTP)

ニュージーランド 化学物質分類・情報データベース(CCID)

経済協力開発機構、環境・健康・安全に関する文書

経済協力開発機構、高生産量化学物質点検プログラム 経済協力開発機構、スクリーニング情報データセット

世界保健機構

免責事項

このSDSは、JIS Z 7252:2019およびJIS Z 7253:2019の要件に準拠している。この安全データシートに記載されている内容は、発行日時点の知見、情報に基づき正確を期したものです。ここに記載されている情報は当該製品の安全な取扱い、使用、加工処理、保管、運搬、廃棄、漏えい時の処理など指針とすることのみを目的としたものであり、いかなる保証をするものではなく、また品質仕様ではありません。な、大力に明記されている場合により、他の何らかの材料と組み合わせて使用した場合、または何らかのプロ セスに使用した場合には、有効でなくなる場合があります。

安全データシート のおわり



この安全データシートは以下の要件に準拠している: JIS Z 7253:2012

改訂日 2021-03-23

改訂番号 1

1. 化学品及び会社情報

製品名 Spectinomycin, 18mg

カタログ番号 12012649

安全データシート の供給者の詳細

本社 製造者

Bio-Rad Laboratories Inc. 1000 Alfred Nobel Drive Hercules, CA 94547

USA

緊急連絡電話番号

Bio-Rad Laboratories, Life Science Group 2000 Alfred Nobel Drive

Hercules, California 94547

USA

日本法人/連絡先住所

140-0002 東京都品川区東品川2-2-24 天王洲セントラルタワー20F バイオ・ラッド ラボラトリーズ

株式会社

テクニカルサービス 03-6404-0331

life_ps_jp@bio-rad.com CHEMTREC (ケムトレック):81-345209637

化学品の推奨用途及び使用上の制限

推奨用途 使用上の制限 試験研究用試薬。

情報なし

2. 危険有害性の要約

GHS 分類	
急性毒性(経口)	区分に該当しない
急性毒性(経皮)	分類できない
急性毒性(吸入) - ガス	区分に該当しない
急性毒性(吸入) - 蒸気	分類できない
急性毒性(吸入) - 粉塵/ミスト	分類できない
皮膚腐食性/刺激性	区分 2
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	区分 2A
呼吸器感作性	分類できない
皮膚感作性	分類できない
生殖細胞変異原性	分類できない
発がん性	分類できない
生殖毒性	分類できない
授乳に対する又は授乳を介した影響	授乳に対する又は授乳を介した影響は
	ない
特定標的臓器毒性(単回ばく 露)	区分 3
特定標的臓器毒性(反復ばく 露)	分類できない
誤えん有害性	分類できない
水生環境有害性 短期(急性)	分類できない
水生環境有害性 長期(慢性)	区分に該当しない
オゾン層への有害性	分類できない

ラベル要素



注意喚起語 危険有害性情報 皮膚刺激

強い眼刺激 呼吸器への刺激のおそれ

注意書き 安全対策

- ・取扱い後は顔、手、露出した皮膚をよく洗うこと ・粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること ・屋外又は換気の良い場所でだけ使用すること
- ・保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること

応急措置

- ・眼に入った場合:水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も 洗浄を続けること

- ・眼の刺激が続く場合: 医師の診察/手当てを受けること・皮膚に付着した場合: 多量の水と石けん(鹸)で洗うこと・皮膚刺激が生じた場合: 医師の診察/手当てを受けること・皮膚刺激が生じた場合: 医師の診察/手当てを受けること・汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること・吸入したな類をに変し、呼吸しやすい姿勢で休息させること
- · 気分が悪いときは医師に連絡すること

保管

・換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと

廃棄

・内容物/容器は都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に依頼して廃棄すること

他の危険有害性

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別

混合物

化学品の名称	CAS番号	重量%	化審法インベント リ	化審法番号	安衛法インベントリ	安衛法番号
スペクチノマイシン塩酸塩 水和物	22189-32-8	50 - 100	情報なし		情報なし	

化学物質排出把握管理促進法(PRTR)

該当しない

労働安全衛生法

通知対象物質

該当しない

<u>表示対象物質</u>

該当しない

毒物及び劇物取締法

該当しない

4. 応急措置

治療を行う医師にこの安全データシートを示すこと。 一般的なアド バイス

空気の新鮮な場所に移すこと。 ばく 露又はばく 露の懸念がある場合: 医師の診察/手当て 吸入した場合

を受けること。 症状が出た場合には、直ちに医師の手当てをうけること。

皮膚に付着した場合 直ちに石けん(鹸)と多量の水で少なくとも15分間洗い落とすこと。 刺激が生じて長引くと

きは、医師の手当てをうけること。

直ちに少なくとも15分間まぶた(瞼)の裏側まで多量の水で洗うこと。 コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。 洗っている間は 眼を大きく 広げてたままにすること。 受傷部をこすらないこと。 刺激が生じて長引くと 眼に入った場合

きは、医師の手当てをうけること。

無理に吐かせないこと。 口をすすぐこと。 意識のない者には、何も口から与えてはなら 飲み込んだ場合

ない。 医師に連絡すること。

急性症状及び遅発性症状の最も重要な 眼の発赤および流涙を引き起こすおそれがある、 灼熱感 徴候症状

応急措置をする者の保護に必要な注意 皮膚、眼又は衣類との接触を避けること。 個人用保護衣を着用すること(項目8を参照)。

事項

医師に対する特別な注意事項 症状に応じて治療すること。

5. 火災時の措置

適切な消火剤 現地の状況及び周囲環境に適した消火方法を用いること。

使ってはならない消火剤 高圧水で漏出物を散乱させないこと。

特有の危険有害性 情報なし。

特有の消火方法 水噴霧でドラムを冷却すること。

大規模火災 警告:放水では十分な消火の効果が得られない場合がある。

消火活動を行う者の特別な保護具及び 消火を行う者は自給式呼吸器及び消火活動用の完全装備を着用しなければならない。 個人 用保護具を使用すること。

予防措置

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊 十分換気されているか確認すること。 指定された個人用保護具を着用すること。 人員を 急時措置 安全な区域に退避させること。 皮膚、眼又は衣類との接触を避けること。 急時措置

項目8で推奨されている個人用保護具を着用すること。 緊急対応を行う者のための保護具

環境に対する注意事項 安全に対処できるならば、それ以上の漏えい(洩)又は漏出を防ぐこと。

封じ込め方法 安全に対処できるならば、それ以上の漏えい(洩)又は漏出を防ぐこと。

浄化方法 回収して適切に表示された容器に移すこと。

二次災害の防止策 汚染された物体及び区域を環境規則に従って十分に浄化すること。

その他の情報 項目7及び項目8に記載されている保護措置を参照すること。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

安全取扱注意事項

産業衛生安全対策規範に従って取り扱うこと。 皮膚、眼又は衣類との接触を避けること。この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。 十分換気されているか確認すること。 蒸気又はミストを吸い込まないようにすること。 換気が不十分な場合、適切な呼吸用保護具を着用する。

衛生対策 適切な手袋および眼/顔面保護具を着用する。 この製品を使用するときに、飲食又は喫煙

をしないこと。 皮膚、眼又は衣類との接触を避けること。

保管

安全な保管条件 容器を密閉して乾燥した涼しく換気のよい場所に保管すること。 製品とラベルの指示に従

って保管してください。

8. ばく露防止及び保護措置

許容濃度 この製品は、供給されたままの状態なら、地域独自の規制団体が制定した職業被ばく限界

が設定された危険有害物質を一切含んでいない。

生物学的職業性ばく露限界値 供給時のこの製品は、各地域の規制機関が独自に生物学的制限値を定めている危険有害性

物質を一切含んでいない。

シャワー 設備対策

洗眼場 換気システム

環境ばく 露防止 情報なし。

保護具

呼吸用保護具 通常の使用条件下では保護具は必要ない。ばく露限度を超えるか刺激が生じる場合には、

換気および排気が必要になる。

手の保護具 適切な手袋を着用する。 不浸透性手袋。

眼、顔面の保護具 薬液飛沫が生じる可能性がある場合には、サイドシールド付きの安全眼鏡を着用するこ

皮膚及び身体の保護具 適切な保護衣を着用する。 長袖の衣類。

9. 物理的及び化学的性質

物理的及び化学的性質に関する情報

物理状態 固体 色 黄色 臭い 微量 臭いのしきい値 情報なし

<u>備考 · 方法</u>

10 210 ° C / 410 ° F 583 ° C / 1081.4 ° F 融点/凝固点 端点、初留点及び沸騰範囲 可燃性____

データなし 情報なし

爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界 爆発又は可燃の上限界 一タ なし 情報なし デ 爆発又は可燃の下限界 データなし 情報なし 引火点 データなし 情報なし ータなし 情報なし 蒸発速度 自然発火点 データなし データなし 情報なし

データなし 分解温度 情報なし 情報なし Hq 粘度

動粘性率 データなし 情報なし データなし 動的粘度 情報なし 水に可溶 水への溶解度

データなし 溶解度 情報なし n ーオクタノール/水分配係数(log値) データなし 情報なし データなし 蒸気圧 情報なし

密度及び/又は比重 データなし

情報なし 相対密度 データなし 相対ガス密度 情報なし 粒子特性

粒径 データなし 該当しない データなし 粒径分布 該当しない

その他の情報

Spectinomycin, 18mg 改訂日 2021-03-23

爆発性 情報なし **酸化特性** 情報なし

10: **安定性及び反応性**

反応性 情報なし。

化学的安定性 通常の条件下で安定。

危険有害反応可能性 通常のプロセスではない。

避けるべき条件情報なし。

混触危険物質 強酸。 強塩基。 強酸化剤。

危険有害な分解生成物 提供された情報に基づき知見なし。

爆発データ

静電放電に対する感度 なし。 機械的衝撃に対する感度 なし。

11. 有害性情報

急性毒性

毒性の数値尺度 - 製品情報

以下の値はGHS文書の第3.1章に基づいて算出されている

ATEmix(経口) 5,005.00 mg/kg

化学品の名称	経口LD50	経皮LD50	吸入 LC50
スペクチノマイシン塩酸塩水和	> 5 g/kg (Rat)	=	-
物	0 0 .		

<u>略語及び頭文字</u> Rat: ラット

症状 発赤、 眼の発赤および流涙を引き起こすおそれがある

製品情報

経口 この化学物質または混合物の特定試験データはない。 飲み込むと胃腸刺激、吐き気、嘔

吐、及び下痢を引き起こすおそれがある。

吸入 これの化学物質または混合物の特定試験データはない。 気道刺激を引き起こすおそれ。

皮膚接触 この化学物質または混合物の特定試験データはない。 皮膚刺激。(成分に基づく)。

眼接触 この化学物質または混合物の特定試験データはない。強い眼刺激。(成分に基づく)。発

赤、掻痒感、及び痛みを引き起こすおそれがある。

皮膚腐食性/刺激性 成分に対して利用可能なデータに基づく分類。 皮膚を刺激する。

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 成分に対して利用可能なデータに基づく分類。 強い眼刺激。

呼吸器感作性又は皮膚感作性 分類できない。

生殖細胞変異原性 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

Spectinomycin, 18mg 改訂日 2021-03-23

発がん性 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

生殖毒性 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

特定標的臓器毒性(単回ばく 露) 呼吸器への刺激のおそれ。

特定標的臓器毒性(反復ばく 露) 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

誤えん有害性 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

12. 環境影響情報

生態毒性 分類できない。

未知の危険有害性物質の濃度 混合物の0%は水生環境に対する危険有害性が未知の成分で構成されている。

情報なし。 残留性. 分解性

生体蓄積性 情報なし。

土壌中の移動性 情報なし。

オゾン層への有害性 分類できない。 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。

他の有害影響 情報なし。

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物 現地の規則に従って廃棄すること。 環境法律に従って廃棄物を廃棄すること。

汚染容器及び包装 空容器を再利用しないこと。

14. 輸送上の注意

<u>IMDG</u> 規制対象外 <u>ADR</u> 規制対象外 <u>IATA</u> 規制対象外 日本 規制対象外

15. 適用法令

国内規制

化学物質排出把握管理促進法(PRTR) 該当しない 労働安全衛生法

該当しない 通知対象物質 該当しない

毒物及び劇物取締法

該当しない 消防法:

該当しない

化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律(化審法)

該当しない

海洋汚染及び海上災害の防止に関する法律

該当しない

国際規制

残留性有機汚染物質に関するストックホルム条約 該当しない

ロッテルダム条約 該当しない

16. その他の情報

作成者 改訂日 改訂記録 Bio-Rad Laboratories, Environmental Health and Safety

2021-03-23

-タシート には大きな変更があります。すべてのセクションをご確認くださ この安全デ・ い。

安全データシート で使用されている略語及び頭文字のキー又は凡例

凡例 項目8: ばく露防止及び保護措置

TWA TWA(時間加重平均)

皮膚兆候

天井値

最大限界值 感作性物質

本安全データシート の編集に使用した主要参考文献およびデータ源

環境有害物質.特定疾病対策庁 (ATSDR)

米国環境保護庁ChemViewデータベース

欧州化学品局 欧州食品安全機関(EFSA)

EPA (環境保護庁)

急性ばく露ガイドラインレベル(AEGL) 米国環境保護庁、連邦殺虫剤、殺菌剤、殺鼠剤法 米国環境保護庁高生産量化学物質

フードリサーチジャーナル (Food Research Journal) 危険有害性物質データベース

厄険有害性物員アーダベース 国際統一化学情報データベース(IUCLID) 日本政府によるGHS分類 オーストラリア国家工業化学品届出審査機構(NICNAS) NIOSH(米国労働安全衛生研究所)

米国医学図書館ChemID Plus(NLM CIP)

National Library of Medicine's PubMed database (NLM PUBMED)

米国国家毒性プログラム(NTP)

ニュージーランド 化学物質分類・情報データベース(CCID)

経済協力開発機構、環境・健康・安全に関する文書

経済協力開発機構、高生産量化学物質点検プログラム

経済協力開発機構、スクリーニング情報データセット

世界保健機構

安全データシート のおわり



この安全データシートは以下の要件に準拠している: JIS Z 7253:2012

改訂日 2021-08-19

改訂番号 1

化学品及び会社情報

製品名 pLZDonor Plasmid, pLZDonorGuide Plasmid

カタログ番号 12012642, 12012646

安全データシート の供給者の詳細

本社 製造者

Bio-Rad Laboratories Inc.

1000 Alfred Nobel Drive Hercules, CA 94547 **USA**

緊急連絡電話番号

Bio-Rad Laboratories, Life Science Group 2000 Alfred Nobel Drive Hercules, California 94547

USA

日本法人/連絡先住所

140-0002 東京都品川区東品川2-2-24 天王洲セントラルタワー20F バイオ・ラッド ラボラトリーズ

株式会社

テクニカルサービス 03-6404-0331

life_ps_jp@bio-rad.com

CHEMTREC (ケムトレック):81-345209637

化学品の推奨用途及び使用上の制限

推奨用途 試験研究用試薬。

使用上の制限 情報なし

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

世界調和システム(GHS)による危険物有害性の物質でも混合物でもない 区分に該当しない 急性毒性(経口)
急性毒性(経皮) 分類できない 急性毒性(吸入) - ガス 区分に該当しない 急性毒性(吸入) - 蒸気 分類できない 急性毒性(吸入) - 粉塵/ミスト 分類できない 皮膚腐食性/刺激性 分類できない 眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 分類できない 呼吸器感作性 分類できない 皮膚感作性 分類できない
急性毒性(吸入) - ガス 区分に該当しない 急性毒性(吸入) - 蒸気 分類できない 急性毒性(吸入) - 粉塵/ミスト 分類できない 皮膚腐食性/刺激性 分類できない 眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 分類できない 呼吸器感作性 分類できない 皮膚感作性 分類できない
急性毒性(吸入) - 蒸気 分類できない 急性毒性(吸入) - 粉塵/ミスト 分類できない 皮膚腐食性/刺激性 分類できない 眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 分類できない 呼吸器感作性 分類できない 皮膚感作性 分類できない
急性毒性(吸入) - 粉塵/ミスト 分類できない 皮膚腐食性/刺激性 分類できない 眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 分類できない 呼吸器感作性 分類できない 皮膚感作性 分類できない
皮膚腐食性/刺激性分類できない眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性分類できない呼吸器感作性分類できない皮膚感作性分類できない
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 分類できない 呼吸器感作性 分類できない 皮膚感作性 分類できない
呼吸器感作性 分類できない 皮膚感作性 分類できない
皮膚感作性 分類できない
上 随知的亦思 原州
発がん性 分類できない
生殖毒性 分類できない
授乳に対する又は授乳を介した影響 授乳に対する又は授乳を介した影響
ない
特定標的臓器毒性(単回ばく露) 分類できない
特定標的臓器毒性(反復ばく露) 分類できない
誤えん有害性 分類できない
水生環境有害性 短期(急性) 分類できない
水生環境有害性 長期(慢性) 分類できない
オゾン層への有害性 分類できない

ラベル要素

危険有害性情報

世界調和システム(GHS)による危険物有害性の物質でも混合物でもない 区分に該当しない

安全対策

該当しない

応急措置

該当しない

保管

該当しない

該当しない

他の危険有害性

3. 組成及び成分情報

化学物質 - 混合物の区別

混合物

製品には、指定の濃度で健康に対して危険有害性であると考えられる物質は含まれていない。

化学物質排出把握管理促進法(PRTR)

該当しない

労働安全衛生法

通知対象物質

該当しない

<u>表示対象物質</u> 該当しない

毒物及び劇物取締法

該当しない

4. 応急措置

吸入した場合 空気の新鮮な場所に移すこと。

皮膚に付着した場合 皮膚を石けん(鹸)と水で洗うこと。

上下のまぶた(瞼)を持ち上げながら最低15分間多量の水でよく洗うこと。医師に相談すること。 眼に入った場合

飲み込んだ場合 口をすすぐこと。

急性症状及び遅発性症状の最も重要な 情報なし

徴候症状

医師に対する特別な注意事項 症状に応じて治療すること。

5. 火災時の措置

適切な消火剤 現地の状況及び周囲環境に適した消火方法を用いること。

使ってはならない消火剤 高圧水で漏出物を散乱させないこと。

特有の危険有害性 情報なし。

水噴霧でドラムを冷却すること。 特有の消火方法

警告: 放水では十分な消火の効果が得られない場合がある。 大規模火災

消火活動を行う者の特別な保護具及び 消火を行う者は自給式呼吸器及び消火活動用の完全装備を着用しなければならない。 個人 用保護具を使用すること。

予防措置

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊 十分換気されているか確認すること。

急時措置

緊急対応を行う者のための保護具 項目8で推奨されている個人用保護具を着用すること。

環境に対する注意事項 環境影響情報の詳細情報については項目12を参照のこと。

封じ込め方法 安全に対処できるならば、それ以上の漏えい(洩)又は漏出を防ぐこと。

浄化方法 回収して適切に表示された容器に移すこと。

二次災害の防止策 汚染された物体及び区域を環境規則に従って十分に浄化すること。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

安全取扱注意事項 産業衛生安全対策規範に従って取り扱うこと。

保管

安全な保管条件 容器を密閉して乾燥した涼しく 換気のよい場所に保管すること 。 製品とラベルの指示に従

って保管してください。

8. ばく露防止及び保護措置

許容濃度 この製品は、供給されたままの状態なら、地域独自の規制団体が制定した職業被ばく限界

が設定された危険有害物質を一切含んでいない。

生物学的職業性ばく露限界値 供給時のこの製品は、各地域の規制機関が独自に生物学的制限値を定めている危険有害性

物質を一切含んでいない。

設備対策 シャワー

洗眼場

換気システム

環境ばく露防止 情報なし。

保護具

呼吸用保護具 通常の使用条件下では保護具は必要ない。ばく露限度を超えるか刺激が生じる場合には、

換気および排気が必要になる。

眼、顔面の保護具 サイドシールド付き保護眼鏡(またはゴーグル)を着用すること。

皮膚及び身体の保護具 特別な保護具は必要とされない。

9. 物理的及び化学的性質

物理的及び化学的性質に関する情報

外観 水溶液 **物理状態** 液体

色 無色 臭い 無臭 臭いのしきい値 情報なし

<u>値</u> 0 ° C / 32 ° F 100 ° C / 212 ° F 融点/凝固点 沸点、初留点及び沸騰範囲 可燃性___

一タ なし

情報なし 爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界

爆発又は可燃の上限界 データなし 情報なし 爆発又は可燃の下限界 データなし 情報なし 引火点 蒸発速度 自然発火点 データなし データなし データなし 情報なし 情報なし データなし 分解温度 情報なし

7.5-8.5 粘度

動粘性率 データなし 情報なし 動的粘度 データなし 情報なし

水と 混和 水への溶解度 溶解度 情報なし

データなし データなし n ーオクタノール/水分配係数(log値) 情報なし 蒸気圧 データなし 情報なし

密度及び/又は比重 相対密度 データなし 情報なし データなし 相対ガス密度 情報なし

粒子特性 データなし 該当しない 粒径 データなし 粒径分布 該当しない

その他の情報

爆発性 情報なし 酸化特性 情報なし

10: 安定性及び反応性

備考 · 方法

反応性 情報なし。

化学的安定性 通常の条件下で安定。

通常のプロセスではない。 危険有害反応可能性

避けるべき条件 情報なし。

混触危険物質 提供された情報に基づき知見なし。

危険有害な分解生成物 提供された情報に基づき知見なし。

爆発データ

静電放電に対する感度 なし。 機械的衝撃に対する感度 なし。

11. 有害性情報

急性毒性

分類できない。 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。

毒性の数値尺度 - 製品情報

症状 情報なし

経口 この化学物質または混合物の特定試験データはない。 吸入この化学物質または混合物の特定試験データはない。

皮膚接触
この化学物質または混合物の特定試験データはない。

眼接触これでは混合物の特定試験データはない。

皮膚腐食性/刺激性 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

呼吸器感作性又は皮膚感作性 分類できない。

生殖細胞変異原性 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

発がん性 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

生殖毒性 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

特定標的臓器毒性(単回ばく露) 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

特定標的臓器毒性(反復ばく露) 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

誤えん有害性 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

12. 環境影響情報

生態毒性 分類できない。

未知の危険有害性物質の濃度 混合物の0%は水生環境に対する危険有害性が未知の成分で構成されている。

残留性.分解性 情報なし。

生体蓄積性情報なし。

土壌中の移動性 情報なし。

オゾン層への有害性 分類できない。 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。

他の有害影響情報なし。

13. **廃棄上の注意**

残余廃棄物 現地の規則に従って廃棄すること。 環境法律に従って廃棄物を廃棄すること。

汚染容器及び包装 空容器を再利用しないこと。

規制対象外

14. 輸送上の注意

規制対象外 <u>IMDG</u> <u>ADR</u> 規制対象外

<u>日本</u> 規制対象外

15. **適用法令**

国内規制

<u>IATA</u>

化学物質排出把握管理促進法(PRTR) 該当しない

労働安全衛生法

該当しない

通知対象物質

該当しない

毒物及び劇物取締法

該当しない 消防法:

該当しない

化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律(化審法)

海洋汚染及び海上災害の防止に関する法律

該当しない

国際規制

残留性有機汚染物質に関するストックホルム条約 該当しない

ロッテルダム条約 該当しない

16. その他の情報

作成者 Bio-Rad Laboratories, Environmental Health and Safety

改訂日 2021-08-19

この安全データシートには大きな変更があります。すべてのセクションをご確認くださ 改訂記録

安全データシートで使用されている略語及び頭文字のキー又は凡例

凡例 項目8: ばく露防止及び保護措置

TWA TWA(時間加重平均) 天井値 最大限界值 皮膚兆候 感作性物質

本安全データシート の編集に使用した主要参考文献およびデータ源

環境有害物質.特定疾病対策庁 (ATSDR)

米国環境保護庁ChemViewデータベース

欧州化学品局 欧州食品安全機関(EFSA)

欧州良品女主機関(LFSA) EPA (環境保護庁) 急性ばく露ガイドラインレベル(AEGL) 米国環境保護庁、連邦殺虫剤、殺菌剤、殺鼠剤法 米国環境保護庁高生産量化学物質 フードリサーチジャーナル (Food Research Journal) 危険有害性物質データベース

厄陝有音性物員アーダイーへ 国際統一化学情報データベース(IUCLID) 日本政府によるGHS分類 オーストラリア国家工業化学品届出審査機構(NICNAS)

NIOSH(米国労働安全衛生研究所)

米国医学図書館ChemID Plus(NLM CIP)

National Library of Medicine's PubMed database (NLM PUBMED)

米国国家毒性プログラム(NTP)

ニュージーランド 化学物質分類・情報データベース(CCID)

経済協力開発機構、環境・健康・安全に関する文書

経済協力開発機構、高生産量化学物質点検プログラム 経済協力開発機構、スクリーニング情報データセット 世界保健機構

<u>免責事項</u>

光見季場 このSDSは、JIS Z 7252:2019およびJIS Z 7253:2019の要件に準拠している。この安全データシートに記載されている内容は、発行日時点の知見、情報に基づき正確を期したものです。ここに記載されている情報は当該製品の安全な取扱い、使用、加工処理、保管、運搬、廃棄、漏えい時の処理など指針とすることのみを目的としたものであり、いかなる保証をするものではなく、また品質仕様ではありません。本文中に明記されている場合を除き、他の何らかの材料と組み合わせて使用した場合、または何らかのプロセスに使用した場合には、有効でなくなる場合があります。

安全データシート のおわり



この安全データシートは以下の要件に準拠している: JIS Z 7253:2012

改訂日 2021-08-19

改訂番号 2

1. 化学品及び会社情報

製品名 OutBlue KIX Mix

カタログ番号 12012648

安全データシート の供給者の詳細

本社 製造者 日本法人/連絡先住所 Bio-Rad Laboratories, Life

Bio-Rad Laboratories Inc. 1000 Alfred Nobel Drive Science Group Hercules, CA 94547 2000 Alfred Nobel Drive Hercules, California 94547 **USA**

USA

140-0002 東京都品川区東品川2-2-24 天王洲セントラルタワー20F バイオ・ラッド ラボラトリーズ

株式会社

テクニカルサービス 03-6404-0331

緊急連絡電話番号

life_ps_jp@bio-rad.com CHEMTREC (ケムトレック):81-345209637

化学品の推奨用途及び使用上の制限

推奨用途 使用上の制限 試験研究用試薬。 情報なし

2. 危険有害性の要約

GHS 分類	
急性毒性(経口)	区分 4
急性毒性(経皮)	区分 4
急性毒性(吸入) - ガス	区分に該当しない
急性毒性(吸入) - 蒸気	分類できない
急性毒性(吸入) - 粉塵/ミスト	区分 4
皮膚腐食性/刺激性	分類できない
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	分類できない
呼吸器感作性	分類できない
皮膚感作性	分類できない
生殖細胞変異原性	分類できない
発がん性	分類できない
生殖毒性	区分 1B
授乳に対する又は授乳を介した影響	授乳に対する又は授乳を介した影響は
	ない
特定標的臓器毒性(単回ばく 露)	分類できない
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	分類できない
誤えん有害性	分類できない
水生環境有害性 短期(急性)	分類できない
水生環境有害性 長期(慢性)	分類できない
オゾン層への有害性	分類できない

ラベル要素





JGHS / JP ページ 37 / 44 OutBlue KIX Mix 改訂日 2021-08-19

飲み込むと有害 皮膚に接触すると有害 吸入すると有害 生殖能又は胎児への悪影響のおそれ

注意書き 安全対策

- ・全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと ・保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること ・取扱い後は顔、手、露出した皮膚をよく洗うこと ・この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと ・粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること
- ・屋外又は換気の良い場所でだけ使用すること

応急措置

- ・ばく 露又はばく 露の懸念がある場合: 医師の診察/手当てを受けること

- ・は、路又はは、路の恋志がめる場合: 医師の診察/チョとを・飲み込んだ場合: 気分が悪いときは医師に連絡すること・口をすすぐこと・皮膚に付着した場合: 多量の水と石けん(鹸)で洗うこと・気分が悪いときは医師に連絡すること・汚染された気を脱ぎ、無た根廷に発し、原理によれる変化を表している。
- ・吸入した場合: 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること

保管

該当しない

廃棄

・内容物/容器は都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に依頼して廃棄すること

他の危険有害性

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別

混合物

化学品の名称	CAS番号	重量%	化審法インベント リ	化審法番号	安衛法インベント リ	安衛法番号
.betaD-Galactopyranoside, 1-methylethyl 1-thio-	367-93-1	50 - 100	情報なし		情報なし	
カナマイシンー硫酸塩	25389-94-0	5 - 10	情報なし		情報なし	

化学物質排出把握管理促進法(PRTR)

該当しない

労働安全衛生法 通知対象物質

該当しない

表示対象物質 該当しない

毒物及び劇物取締法

該当しない

4. 応急措置

一般的なアド バイス 治療を行う医師にこの安全データシートを示すこと。

呼吸が停止している場合には、人工呼吸を行うこと。直ちに医師の手当てを受けること。 空気の新鮮な場所に移すこと。 症状が続く場合には、医師に連絡すること。 吸入した場合

皮膚に付着した場合 直ちに少なくとも15分間水で洗浄すること。 症状が続く場合には、医師に連絡すること。

眼に入った場合 上下のまぶた(瞼)を持ち上げながら最低15分間多量の水でよく洗うこと。医師に相談する

こと。

改訂日 2021-08-19 OutBlue KIX Mix

飲み込んだ場合 無理に吐かせないこと。 口をすすぐこと。 意識のない者には、何も口から与えてはなら

ない。医師の手当てを受けること。

急性症状及び遅発性症状の最も重要な 咳および/または喘鳴、 呼吸困難

徴候症状

応急措置をする者の保護に必要な注意 医療者が物質の関与を認識していることを確認し、彼ら自身の保護及び汚染の拡大を防止するための措置を講じること。 粉じん/煙/ガス/ミスト /蒸気/スプレーの吸入を避けること。 指定された個人用保護具を着用すること。 詳細については項目8を参照。

医師に対する特別な注意事項 症状に応じて治療すること。

5. 火災時の措置

適切な消火剤 現地の状況及び周囲環境に適した消火方法を用いること。

使ってはならない消火剤 高圧水で漏出物を散乱させないこと。

特有の危険有害性 情報なし。

特有の消火方法

水噴霧でドラムを冷却すること。 警告:放水では十分な消火の効果が得られない場合がある。 大規模火災

消火活動を行う者の特別な保護具及び 消火を行う者は自給式呼吸器及び消火活動用の完全装備を着用しなければならない。 個人 予防措置 用保護具を使用すること。

予防措置

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊 皮膚、眼又は衣類との接触を避けること。 十分換気されているか確認すること。 指定さ 急時措置 れた個人用保護具を着用すること。 粉じんの発生を避けること。 粉じんを吸入しないこ 急時措置

項目8で推奨されている個人用保護具を着用すること。 緊急対応を行う者のための保護具

環境に対する注意事項 安全に対処できるならば、それ以上の漏えい(洩)又は漏出を防ぐこと。

封じ込め方法 安全に対処できるならば、それ以上の漏えい(洩)又は漏出を防ぐこと。

浄化方法 回収して適切に表示された容器に移すこと。

二次災害の防止策 汚染された物体及び区域を環境規則に従って十分に浄化すること。

その他の情報 項目7及び項目8に記載されている保護措置を参照すること。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

安全取扱注意事項

産業衛生安全対策規範に従って取り扱うこと。 皮膚、眼又は衣類との接触を避けること。 十分換気されているか確認すること。 この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしない こと。 汚染された衣類及び靴を脱ぐこと。 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレー の吸入を避けること。 粉じんの発生を避けること。

皮膚、眼又は衣類との接触を避けること。 適切な手袋および眼/顔面保護具を着用する。 この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。 休憩前および製品の取扱い直後 に手を洗うこと。 粉じん/煙/ガス/ミスト /蒸気/スプレーの吸入を避けること。 衛生対策

保管

容器を密閉して乾燥した涼しく換気のよい場所に保管すること。 子供の手の届かない場所 安全な保管条件

に保管すること。 施錠して保管すること。

OutBlue KIX Mix 改訂日 2021-08-19

8. ばく露防止及び保護措置

許容濃度 この製品は、供給されたままの状態なら、地域独自の規制団体が制定した職業被ばく 限界

が設定された危険有害物質を一切含んでいない。

供給時のこの製品は、各地域の規制機関が独自に生物学的制限値を定めている危険有害性 生物学的職業性ばく 露限界値

物質を一切含んでいない。

設備対策 シャワー

洗眼場 換気システム

環境ばく 露防止 情報なし。

保護具

呼吸用保護具 通常の使用条件下では保護具は必要ない。ばく露限度を超えるか刺激が生じる場合には、

換気および排気が必要になる。

手の保護具 適切な手袋を着用する。

サイドシールド付き保護眼鏡(またはゴーグル)を着用すること。 眼、顔面の保護具

皮膚及び身体の保護具 適切な保護衣を着用する。 長袖の衣類。

9. 物理的及び化学的性質

物理的及び化学的性質に関する情報

固体 固体 外観 物理状態 色 オフホワイト 無臭 臭いのしきい値 情報なし

特性 備考 · 方法 値 記し、 融点/凝固点 沸点、初留点及び沸騰範囲 可燃性____ 情報なし データなし データなし 情報なし ータなし 情報なし 爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界

爆発又は可燃の上限界 データなし 情報なし ータなし 爆発又は可燃の下限界 情報なし データなし 引火点 情報なし 蒸発速度 自然発火点 分解温度 情報なし 一夕なし 情報なし 情報なし ータなし 情報なし

рΗ 粘度

動粘性率 データなし 情報なし データなし 動的粘度 情報なし 水に可溶 水への溶解度

データなし 溶解度 情報なし n ーオクタノール/水分配係数(log値) 情報なし 蒸気圧 データなし 情報なし 密度及び/又は比重

相対密度 データなし 情報なし 相対ガス密度 データなし 情報なし 粒子特性

粒径 データなし 該当しない データなし 粒径分布 該当しない

その他の情報

OutBlue KIX Mix 改訂日 2021-08-19

爆発性 情報なし **酸化特性** 情報なし

10: 安定性及び反応性

反応性 情報なし。

化学的安定性 通常の条件下で安定。

危険有害反応可能性 通常のプロセスではない。

避けるべき条件 過剰な熱。

混触危険物質 提供された情報に基づき知見なし。

危険有害な分解生成物 提供された情報に基づき知見なし。

爆発データ

静電放電に対する感度 なし。 **機械的衝撃に対する感度** なし。

11. 有害性情報

急性毒性

毒性の数値尺度 - 製品情報

以下の値はGHS文書の第3.1章に基づいて算出されている

 ATEmix(経口)
 545.30 mg/kg

 ATEmix(経皮)
 1,100.00 mg/kg

 ATEmix(吸入 - 粉じん/ミスト)
 1.50 mg/l

未知の急性毒性

混合物の 28.1909 %は急性経口毒性が未知の成分から成る 混合物の 35.0091 %は急性経皮毒性が未知の成分から成る

混合物の 35.0091 %は急性吸入毒性(粉じん/ミスト)が未知の成分から成る

化学品の名称	経口LD50	経皮LD50	吸入 LC50
カナマイシンー硫酸塩	> 4 g/kg (Rat)	-	-

<u>略語及び頭文字</u> Rat: *ラット*

症状 咳および/または喘鳴

製品情報

経口 この化学物質または混合物の特定試験データはない。 飲み込むと有害。(成分に基づく)。

吸入 この化学物質または混合物の特定試験データはない。 吸入すると有害である。 (成分に基

づく)。

皮膚接触 皮膚を通して有害な量を吸収するおそれ。 皮膚に接触すると有害。(成分に基づく)。

眼接触これでは現合物の特定試験データはない。

皮膚腐食性/刺激性 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

呼吸器感作性又は皮膚感作性 分類できない。

OutBlue KIX Mix 改訂日 2021-08-19

生殖細胞変異原性 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

発がん性 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

生殖毒であることが知られている又は疑われる物質を含んでいる。 成分に対して利用可能 なデータに基づく分類。 生殖能又は胎児への悪影響のおそれ。 生殖毒性

特定標的臓器毒性(単回ばく 露) 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。分類できない。

特定標的臓器毒性(反復ばく露) 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

誤えん有害性 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

12. 環境影響情報

生態毒性 分類できない。

未知の危険有害性物質の濃度 混合物の 0.9182 %は水生環境に対する危険有害性が未知の成分で構成されている。

情報なし。 残留性 分解性

生体蓄積性 情報なし。

土壌中の移動性 情報なし。

オゾン層への有害性 分類できない。 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。

他の有害影響 情報なし。

13. **廃棄上の注意**

残余廃棄物 現地の規則に従って廃棄すること。 環境法律に従って廃棄物を廃棄すること。

汚染容器及び包装 空容器を再利用しないこと。

14. 輸送上の注意

IMDG 規制対象外 規制対象外 <u>ADR</u> <u>IATA</u> 規制対象外 日本 規制対象外

改訂日 2021-08-19 OutBlue KIX Mix

15. 適用法令

国内規制

化学物質排出把握管理促進法(PRTR) 該当しない

労働安全衛生法 該当しない

通知対象物質

該当しない

毒物及び劇物取締法

該当しない 消防法:

該当しない

化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律(化審法) 該当しない

海洋汚染及び海上災害の防止に関する法律

該当しない

国際規制

残留性有機汚染物質に関するストックホルム条約 該当しない

ロッテルダム条約 該当しない

16. その他の情報

改訂日

Bio-Rad Laboratories, Environmental Health and Safety

2021-08-19

改訂記録

この安全データシートには大きな変更があります。すべてのセクションをご確認くださ い。

安全データシート で使用されている略語及び頭文字のキー又は凡例

<u>凡例 項目8: ばく 露防止及び保護措置</u> TWA TWA(時間加重平均)

皮膚兆候

天井値

最大限界值 感作性物質

本安全データシート の編集に使用した主要参考文献およびデータ源

環境有害物質·特定疾病対策庁 (ATSDR)

米国環境保護庁ChemViewデータベース

欧州化学品局 欧州食品安全機関(EFSA)

欧州良品女全機関(EFSA) EPA (環境保護庁) 急性ばく露ガイドラインレベル(AEGL) 米国環境保護庁、連邦殺虫剤、殺菌剤、殺鼠剤法 米国環境保護庁高生産量化学物質 フードリサーチジャーナル (Food Research Journal) 危険有害性物質データベース 国際統一化学情報データベース(IUCLID)

日本政府によるGHS分類 オーストラリア国家工業化学品届出審査機構(NICNAS)

NIOSH(米国労働安全衛生研究所)

米国医学図書館ChemID Plus(NLM CIP)

National Library of Medicine's PubMed database (NLM PUBMED)

米国国家毒性プログラム(NTP)

ニュージーランド 化学物質分類・情報データベース(CCID)

経済協力開発機構、環境・健康・安全に関する文書

経済協力開発機構、高生産量化学物質点検プログラム 経済協力開発機構、スクリーニング情報データセット

世界保健機構

元見予場 このSDSは、JIS Z 7252:2019およびJIS Z 7253:2019の要件に準拠している。この安全データシートに記載されている内容は、発行日時点の知見、情報に基づき正確を期したものです。ここに記載されている情報は当該製品の安全な取扱い、使用、加工処理、保管、運搬、廃棄、漏えい時の処理など指針とすることのみを目的としたものであり、いかなる保証をするものではなく、また品質仕様ではありません。本文中に明記されている場合を除き、他の何らかの材料と組み合わせて使用した場合、または何らかのプロセスに使用した場合には、有効でなくなる場合があります。

OutBlue KIX Mix

改訂日 2021-08-19

安全データシート のおわり